

菩提山

島田市立伊久美小学校

伊久美小学校は、12月23日から1月4日まで冬休みとなります。学習、手伝い、正月行事への参加などにおいて、「自分でできる」を合い言葉として、休み中も実践できますようご支援ください。そして、確かな実践をもとに、新たな取り組みに挑戦する、希望に満ちた新たな年をお迎えください。

「学校評価アンケート集計結果」

先日はお忙しい中、学校評価アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。皆様からの評価を参考にさせていただき、これからの伊久美小学校の学校運営に活かしていきたいと思っております。

<保護者の回答> ※数字はパーセント

No.		はい	いいえ	わからない
1	子どもは学校に行くことを楽しんでいる	94.0	4.0	2.0
2	子どもはいろいろなことに挑戦しようとしている	↑ 78.0	22.0	0.0
3	子どもはどんなことにも粘り強く取り組む	60.0	40.0	0.0
4	子どもはめあてをもって学習や生活に取り組む	66.0	34.0	0.0
5	子どもは漢字の読み書き、計算などの基礎的な力を身につけている	78.0	22.0	0.0
6	子どもは自分の考えをしっかりと伝えることができている	60.0	40.0	0.0
7	子どもは自分から進んで学習に取り組んでいる	54.0	46.0	0.0
8	子どもは人の話をきちんと聞いている	48.0	50.0	2.0
9	子どもは本に親しんでいる	44.0	56.0	0.0
10	子どもは学習の準備や宿題などを忘れずにやっている	↑ 80.0	20.0	0.0
11	子どもは進んであいさつをしている	↓ 56.0	44.0	0.0
12	子どもは優しい言葉遣いができている	54.0	46.0	0.0
13	子どもは「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を言うことができている	64.0	36.0	0.0
14	教師は授業をわかりやすく教えている	↓ 80.0	14.0	6.0
15	教師は子どもの声に耳を傾けたり、気を配ったりしている	84.0	10.0	6.0
16	教師は子ども良さを認めて、ほめている	90.0	4.0	6.0
17	教師は子どもがいけないことをしたときちゃんと指導している	80.0	18.0	2.0
18	困ったことがあった時、教師は保護者の相談に応じている	86.0	8.0	6.0
19	電話や訪問の際、学校職員はきちんと対応している	94.0	6.0	0.0
20	学校は学校・学級だより、ホームページを通して、子どもの様子を家庭に積極的に伝えている	↓ 88.0	12.0	0.0
21	学校は家庭や地域と連携して教育活動に取り組んでいる	94.0	6.0	0.0
22	学校では一つ一つのことにじっくりと時間をかけて取り組んでいる	82.0	14.0	4.0
23	保護者にとって、教育相談は子どもの様子や課題がよくわかるものになっている	82.0	8.0	10.0
24	学校の施設は安全性が保たれている	78.0	16.0	6.0
25	北部小中5校の連携教育は有効である	86.0	4.0	10.0

- ・記号↑は昨年度より、数値が向上していることを表します。
- ・記号↓は昨年度より、数値が下がっていることを表します。

<地域の方の回答> ※数字はパーセント

No.		はい	いいえ	わからない
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	80.0	0.0	20.0
2	学校は子どもの様子を地域に伝えている	80.0	0.0	20.0
3	学校は家庭や地域との連携に努めている	90.0	0.0	10.0
4	学校は地域の皆さんのの願いに答えている	70.0	0.0	30.0
5	地域の皆さんにとって学校は行きやすい	60.0	10.0	30.0
6	電話や訪問の際、学校職員の対応はきちんとしている	90.0	0.0	10.0
7	北部小中5校の連携教育は有効である	80.0	0.0	20.0
8	伊久美の子どもは進んであいさつができ、礼儀正しい	70.0	30.0	0.0
9	運動会や伊久美小文化祭などの行事の内容や進め方に満足している	90.0	0.0	10.0
10	学校施設の安全性は保たれている	70.0	0.0	30.0

・No.5とNo.8については、来年度の教育課程編成の際の課題と受け止めます。

<保護者、地域の方々のアンケート結果から、得られたこと>

- 「つよい伊久美の子」として、自分が立てた目標に向かって努力をしている子どもが増えている。今後も伸びる可能性がある。
- 学習習慣が身につけてきた子どもが増えてきた。今後、さらに向上させたい。
- 子どもの日常の言語活動には課題がある。礼儀正しい言葉遣い、あいさつなど、継続的な指導が望まれる。
- 学校から家庭、地域への情報発信は数値的には高い評価を得ているものの課題を示している。どんな情報内容を掲載していくか、意見を求め、進めていきたい。
- 教師の姿勢評価についても数値的には高い。注目すべきは満足できない部分であるが、懇談会などを通じ、教師と保護者が共通理解する場を多く持ちたい。

以上のアンケート結果は、これだけの分析に終わらず、教育課程編成会議の中でより詳細に分析をしていきます。加えて、同様の調査を子どもと教師も行っていますので、それらとの比較からも検討課題が生まれる可能性もあります。来年度に向け、子どもたちを大きく成長させる「夢」のある編成作業にして参りたいと考えております。方向性が定まりましたら、懇談会や紙面にてご報告いたします。

また、アンケートの中で、皆様の貴重なご意見やご質問も多く頂戴しましたことに感謝申し上げます。アンケート回答者数に比べ、これだけ多くのご意見をいただく学校はそう多くはないと思います。これも皆様の教育に対する関心の高さを示しているものと思われまます。

お寄せいただいたご意見を全て掲載すべきところですが、個人的な質問や校内の編成会議上で検討すべきものが多くありましたので、頂戴したご意見の概要のみ、紹介させていただきます。学校からの回答が必要なところにつきましては、教育相談や今後の誌面にて、報告いたします。

〈保護者の皆様からのご質問、ご意見〉

〈学校教育全般について〉

- ・低学年の人数が多く、高学年が少ない状況で、来年度以降の4年生の存在は大きい。
 - ・低中学年に過剰な負担がかからないような配慮をお願いしたい。
 - ・夏、冬と同じ時刻に帰ることは可能か。1年中、3時バスの方が余裕がある。
 - ・宿題を学校でやることは可能か。
 - ・学習プリントが未記入の場合、宿題としてほしい。
 - ・地域の行事に学校として参加することを増やしてほしい。
 - ・子どもの向上心をのばす教育の展開を、発想力、共創力が身につく方向性を。
 - ・今の時代を反映しているか、子どもたちの言葉遣いが少し悪い。
 - ・自分たちで考え、行動できる子どもたちになっていけるといい。
-
- ・安心して学校に送り出すことができている。
 - ・学校行事にも慣れ、目標を持って取り組むことができるようになった。
 - ・体験型の学習が多く盛りこまれており、心が育つ教育を展開している。
 - ・少人数のため、一人一人の見せ場があり、毎回楽しみにしている。一人一人の成長が見られるのが伊久美の良さ。子どもはいつも「楽しかった」と帰ってくる。
 - ・子どもたちが楽しそうに学校に通っている。いろいろな行事に親子で参加する機会が多く、子どもの様子もわかる。他校とは違う魅力を感じる。地域とのつながりも深く、いろいろな世代の人と係わる良い環境だと思う。
 - ・学区外から通学している子どもたちや保護者の皆さんの協力をしていきたい。
-
- ・担任が毎日出してくれるたより、ホームページ、子どもからの情報から、子どもが有意義な時間を過ごしていることがよくわかる。
 - ・「たより」が毎日届き、普段の学校の生活がわかる。写真を見て、楽しそうな様子がわかる。
 - ・学校だよりの発行時期を月初めに。学級で紹介された写真と重なることが多い。
 - ・学校だよりに、1か月をスタートするにあたっての学校の姿勢などを掲載したい。
-
- ・北部連携、片浜小との交流は重要。小規模校でも、中学進学後、気持ちの面で負けない子どもたちに育てたい。
 - ・学校で本を借りることがない。本を借りる時間を作ってほしい。

〈PTA関係〉

- ・親子ふれあい活動の後のバーベキューはいかがかと思う。子ども、教師、親がみんなのできる軽スポーツなどで、普段時間のとれない子どもとのふれあい時間を過したい。
- ・家庭教育学級のフリートークはいろいろな話ができ良かった。今後もこのような機会を設けたい。

〈行 事〉

- ・運動会や文化祭は伊久美小らしくて良いと思います。
 - ・運動会リレーを再開しましたが、昔の事故を受け止めてほしかった。
 - ・運動会では、もう少し親子競技を増やしてほしい。
 - ・運動会で、地域の知人同士が固まっていた疎外感を感じた。親しめる感じがほしい。
-
- ・伊久美小文化祭で、年々午前中の小学校会場の人の出入りが少ないことから、見直す時期なのかと思う。
 - ・文化祭は、本物の芸術に触れる機会。子どもの幸せです。
-
- ・文化祭の日程。事前に配布された内容では、ピアニカ演奏とオペレッタの順になっていたが、実はオペレッタが先だった。あらかじめの予定を教えてください。

- ・オペレッタは素晴らしかった。伊久美の子は短い中で、歌や台詞を覚えることができる。集中し物事に取り組める集団だと感じた。
- ・オペレッタの時の声が小さい。発声や思いを込めた表現を普段から心がけたい。
- ・いろいろな行事が丸一日がかり。もう少し時間に余裕を。
- ・行事が多く、子どもたちも本当によくがんばり、エネルギーをもらっている。

〈地域の方々からのご質問、ご意見〉

- ・地域の活性面から学校の存在は大きく寄与している。地域の住民として学校に協力できるように尽くしたい。
- ・特認校になり、保護者に不安をもたれた時期もあったようですが、安定した学校生活を子どもたちが過ごしている様でうれしく思う。
- ・小学校入り口の看板を見やすい看板に替えたい。
- ・最近の教師と子どもの関係について、友だちの関係のように見える。教師と子どもの間には一定の距離が必要と思う。教育委員会、PTA等、いろいろな目が向けられているが、時には厳しくやることも必要ではないか。
- ・小学校では、その子の将来のために基礎的な学力をしっかりと身につけさせてほしい。
- ・地域とのかかわりをもちながらの教育活動はとても良い取り組みと思う。少子化のなか、地域とかかわりを持つことで地域の人たちも元気をもらっているのではないかとと思う。今後も、地域の資源（人材を含め）を使っていただきたい。
- ・片浜小、北中との交流もあるが、近隣小学校との交流もどうか。（クラブ活動など）
- ・自然を生かした体験活動の充実を図りたい。
- ・地区祭典への参加。
- ・自治会が中心となった地域安全活動の実施。
- ・運動会、文化祭は地域とのつながりもあり、家庭的な雰囲気を醸し出している。子どもたちも自信をつけやすい環境となっている。
- ・運動会は子どもたちの元気な姿を確認する場として継続する。
- ・文化祭は年間の事業計画から現状どおりが妥当と思われる。
- ・集会のときなどに積極的に手を挙げて自分の意見を言える子どもが多い。このことはとても良いことだと思う。惜しまれるのは、声が小さいこと。大きな声で話したい。
- ・家庭は教育の出発点であり、学校、家庭、地域の連携が大切と思う。良いことは褒め、悪いことは毅然として正す姿勢が家庭において地域においてできているのでしょうか。規範意識や躾は学校でとっと思っていれば大変なことである。

島田市教育委員会より、お知らせがあります。

《島田市教育委員会からのお知らせ》

島田市教育委員会では、経済的に就学困難な児童・生徒に対して就学費用の一部を援助しています。

年度途中でも申込みが出来ますので、急な生活環境の変化など経済状況が厳しくなったと感じられるご家庭は、学校事務職員または教育総務課までご相談ください。

※ただし、ご家庭の収入状況(同居の家族を含む)や生活状況等から総合的に判断して認定しますので、必ず援助を受けられるとは限りません。

島田市教育委員会 教育総務課 TEL 0547(46)5613